

【施工監理＝オリコンサルグローバル マニラ首都圏地下鉄 CP104工区が起工】



# マニラ首都圏地下鉄 CP104工区が起工

施工 東急・飛島・メガワイドJV  
施工監理＝オリコンサルグローバル

フィリピン初の地下鉄となるマニラ首都圏地下鉄事業（フェーズ1）CP104工区（オルティガス駅～シヨウウ駅）の起工式が3日、現地で行われた。写真。施工は東急建設・飛島建設・メガワイド社JV。施工監理はオリエンタルコンサルタンツグローバルが担当する。

式典にはマルコス大統領やパウテイスタ運輸大臣など同国要人のほか、寺田光宏東急建設社長、米澤栄二オリコンサルグローバル社長ら約180人が出席した。

同地下鉄事業は、人口増加に伴い交通渋滞が深刻化しているマニラ首都圏での大規模公共交通網の南北軸を形成するもので、日本政府のODA（政府開発援助）資金と無償資金協力で実施されている。総延長は34キロ。2027年の開業を目指して鋭意工事が進

んでいる。

今回起工したCP104工区は、同首都圏中心部のパシグ市オルティガス地区に位置し、地下トンネル長さ約3・4キロ、地下2駅を整備する、地下鉄路線の中でも重要性和開発効果が高い区間となる。予定工期は28年4月26日まで。

この日はオリコンサルグローバルが作成した施工区間のVR（仮想現実）によるデモ体験が式典会場で実施され、出席者の関心を集めた。このVRデータは今後、鉄道線路沿線住民のプロジェクト理解向上と鉄道運営・維持管理分野での活用を予定している。同社は、比国運輸省と緊密に連携しながら、BIMやVRなどの最新デジタル技術を活用して安心安全で効率的な工事実施を推進するとしている。